

12月の安全指導について

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。12月の安全指導は下記のとおりです。登下校時や放課後は、大人の目の届きにくい時間です。また、12月は暗くなる時間が1年で最も早い月です。思わぬ危険やトラブルを回避できるよう、放課後の過ごし方やルールについて、ご家庭でもあらためてご確認ください。

○実施内容【放課後の安全な過ごし方を考えよう】

☆登下校はみんなで一緒に！

災害時や不審者との遭遇時に何よりも避けたい状況は、児童が一人だけになることです。毎日学校から家までの通学路を一人にならず登下校するのは難しいですが、もしもの時に備えて、お子さんの通学路で一緒に登下校している友達を把握しておくことで安心です。

○通学路を守って登下校する。

○できるだけ友達と一緒に登下校する。

これらの約束を確認し、寄り道をせず安全な登下校をするよう伝えてください。万が一、お子さんが不審者等に出会ってしまったときは、心身の安全を確保した上で、すぐ警察に届けてください。

☆放課後の遊び方について

○お金を持っていない

例えば、友達にジュースやお菓子をおごってあげた、カードを買ってあげた、ゲームコーナーで遊ぶお金を払ってあげた等、子供は大人に内緒でお金を使うことがあります。あげる側だけでなく、もらう側も罪悪感から黙ってしようとするケースが多く、大人が気付けない可能性も十分にあります。

お金でつながる交友関係はとても危険です。子供同士ゆえに、「おごってあげたから言うことを聞いて。」「やっぱりこの前のお菓子代を返して。」等、トラブルに発展することもあります。

また、お金だけでなく携帯電話や携帯ゲーム機などの高価な物を持って遊び場に行き、目を離れた間になくなってしまったという事例もあります。「遊びに行くときはお金や高価な物を持たない」等の約束や、お小遣いの使い方について確認してください。

○お家の人に自分の行動を知らせる

もしもの時、子供がどこで何をしているのか分からず、対応が遅くなるのがあっては大変です。「少し帰りが遅いな。」と心配になったときに、直接居場所へ出向いて確認したり、ご家庭同士連絡を取り合えたりすると安心です。日頃から、遊びに行く時は、家の人に自分の行動の詳細を伝えてから出かけるようよくお話しください。

また、ご家族が不在の時の外出について、電話やメールで連絡をとったり、行き先を書き残したりするなど、ご家庭で約束を確認しておいてください。

◎だれとどこで遊ぶのか

◎何時に帰るのか

☆自分を大切にしよう(SOSを出そう)

- ・一人で悩まず、不安なことや心配なことは必ず相談するようにしてください。「身近にいる信頼できる大人」お家の人、先生、スクール・カウンセラーなど、誰でもよいので相談しましょう。
- ・自分の体も命も大切にしましょう。この世でたった一人の大切な「自分」です。危険な行動をせず、何かあったら助けを求めましょう。

担当 生活指導主任 井上 愛子